

○学習発表会：一人ひとりの個性がキラキラ輝いていました

9月28日（土）に、前期の大きなイベントである学習発表会が感動のうちに幕を閉じました。当日は早朝より多くの保護者の皆様をはじめ、ご来賓の皆様もお越しくださり、子どもたちに温かい拍手と声援をいただき、大変ありがとうございました。子どもたちは、この日に向けて一生懸命練習に取り組んだ成果を十分に発揮し、素晴らしい演技を見せてくれました。

小学校1年生の「おむすび ころりん」や2年生の「リセリンピック 2019」では、元気いっぱい、一生懸命な演技をみせてくれました。

小学3年生の「パズルクエストⅢ年～そしてパズルへ～」、小学4年生の「消えた少年」、小学5年生の「一期一笑～みんなでわっはっは～」では、自分たちの身近な問題をテーマに、より良く生きていくためにはどうしたらよいかをみんなで考えようとのメッセージ性が強くなっていました。劇の展開も工夫されており、テンポよく、楽しく、全員が輝いて演技をしていました。

6年生の「十二の太鼓～新たな響き～」は、大迫力の太鼓演舞を見せてくれました。曲目の説明をスペイン語ですらすら話すところなどは、さすが6年生だと感心させられました。

中学生は「日本とメキシコの歴史（1年生）」「平成から令和へ（2年生）」「時代とお金～お金を正しく見るために～（3年生）」についての発表を映像と寸劇に工夫をこらし、分かりやすく発表しました。中学部劇は、地球の環境問題についてコミカルに描いていましたが、私たちの身近な問題から上手にストーリーを創りあげたことと、子どもたちの演技が臨場感たっぷりであったため、深く考えさせられてしまいました。

小学部低学年の二部合唱「ピーターラビットと私」「明日へ」、小学部高学年の混声三部合唱「空駆ける天馬」、中学部混声四部合唱「聞こえる」とそれぞれに素晴らしい合唱を披露してくれました。最後の全校合唱「ふるさと」はオーディトリオ一杯に美しい歌声が響き渡り、感動のうちに、今年度の学習発表会が幕を閉じました。

○通知表：前期を振り返って

早いもので今年度も約半分が終わりました。10月3日に前期終業式を行い、子どもたちは担任の先生から一人ひとり通知表をわたされます。通知表は、お子様の今年度前期の学習状況や学校での生活の様子をお知らせするものです。保護者の皆様は、「○の数や数値」に捕らわれることなく、「何が達成できていて、何が達成できていないのか」に着目して、お子様が今後「自分をよりよく高めていくために、今後何をすべきなのか」を一緒に考えて、後期に臨んでいただくと大変ありがたいと思います。兄弟のいるご家庭では「○の数や数値」を兄弟で比べてしまったりすることはないようお願いいたします。子どもたちはそれぞれに未知の可能性を秘めています。どんどん成長しますし、通知表に現れない可能性や才能が、いつ、どのタイミングでぐんと伸びるか分かりません。子どもたち一人ひとりについて、長い眼差しで温かく見守っていきましょう。